Emerging Bio-medical Technology
MEDI NET

2026年９月期
決算説明会

株式会社メディネット

（証券コード：2370）

2026年11月26日（木）

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

SECTION

Emerging Bio-medical Technology
MEDI NET

1 業績

2 細胞加工業

3 再生医療等製品事業

4 事業構造改革と今後の取り組み

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

業績サマリー

Emerging Bio-medical Technology
MEDI NET

売上高

821 百万円

前年同期
810 百万円

前年同期比
101.4%

研究開発費

603 百万円

前年同期
452 百万円

前年同期比
133.3%

営業損失

△1,520 百万円

前年同期
△1,445 百万円

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

売上高・営業損失・経常損失

（単位：百万円）	2025年9月期 累計実績 (A)	2026年9月期 累計実績 (B)	対前年同期 増減額 (B)-(A)	対前年同期 比率
売上高	810	**821**	11	101.4
営業損失（△）	△1,445	**△1,520**	△74	-
経常損失（△）	△1,339	**△1,360**	△20	-
当期純損失（△）	△1,362	**△1,397**	△35	-

■売上高

S-DSC ® の加工件数が前年を上回り、
免疫細胞の加工件数も増加した結果、
特定細胞加工は568百万円（前年同期比102.4%）

ティーセルヌーヴォーから受託した
技術移転に係る一時金の発生等により、
CDMO事業は192百万円（前年同期比110.2%）

一方でバリューチェーン事業の施設運営管理料の
売上減少により、
全体では821百万円（前年同期比101.4%）

■営業損失

売上総利益の増加の一方、研究開発費の増加により、
販売費及び一般管理費が1,671百万円
（前年同期比107.5%）となった結果、
1,520百万円（前年同期は1,445百万円）

■経常損失

投資事業組合運用益103百万円等により、
1,360百万円（前年同期は1,339百万円）

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

売上総利益・販売費及び一般管理費

（単位：百万円）	2025年9月期 累計実績 (A)	2026年9月期 累計実績 (B)	対前年同期 増減額 (B)-(A)	対前年同期 比率
売上高	810	821	11	101.4
売上総利益	109	151	41	137.6
売上総利益率%	13.5	18.4	-	-
販売費及び一般管理費	1,555	1,671	116	107.5
研究開発費	452	603	150	133.3
販売費	221	206	△15	93.0
一般管理費	880	861	△19	97.8

■売上総利益

売上原価低減の取組みや細胞加工施設において一部の費用配賦方法の見直しに加え、CDMO事業における技術移転一時金売上の計上等により大幅に増加し、
151百万円（前年同期比137.6%）

■研究開発費

MDNT-03（Stempeucel ® ）のオプション費用等により、
603百万円（前年同期比133.3%）

■販売費

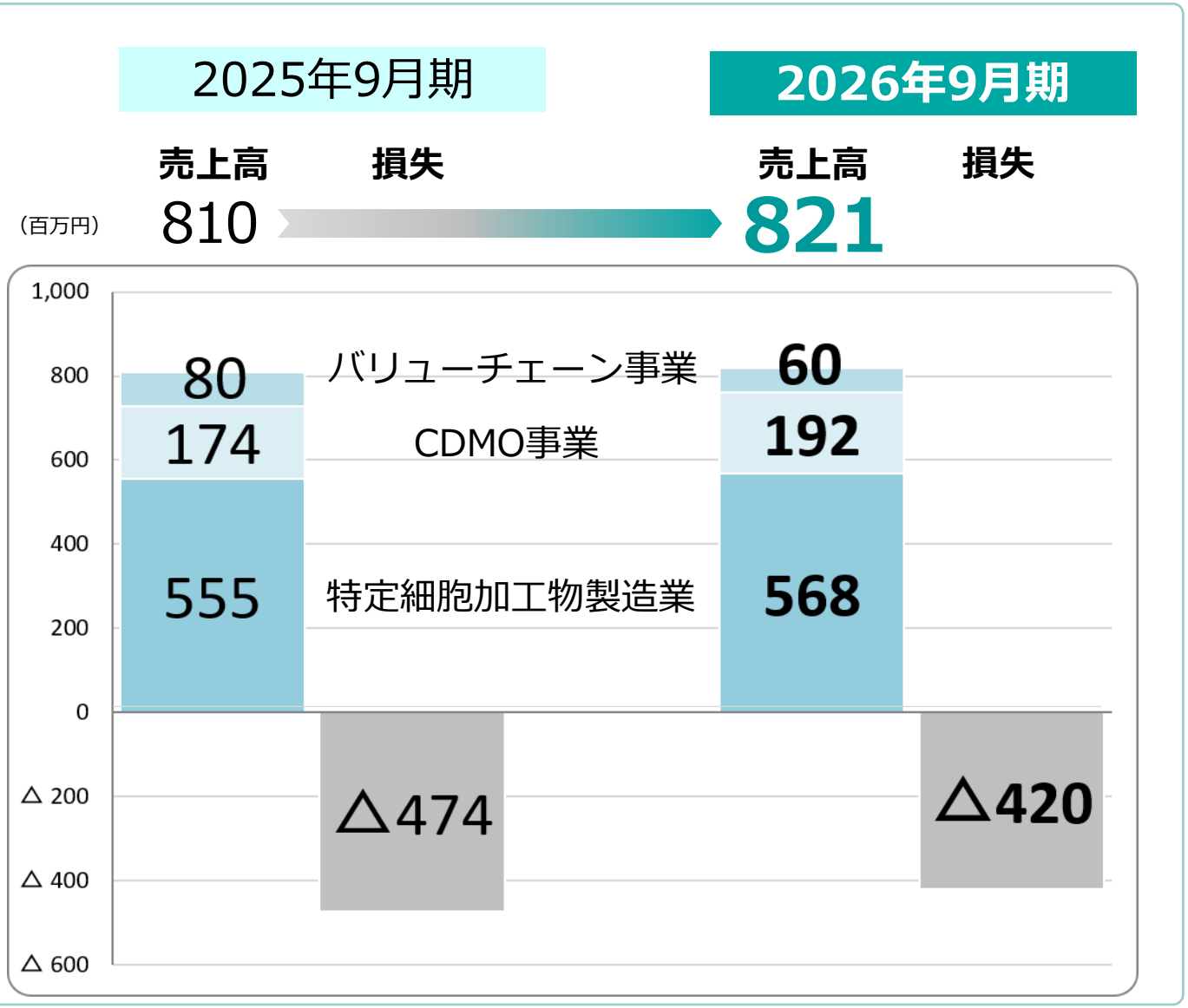
効率的なプロモーション活動の推進等により、
206百万円（前年同期比93.0%）

■一般管理費

従業員向け株式報酬制度に関連する会計上の費用認識の影響、人員配置の最適化の推進等により、
861百万円（前年同期比97.8%）

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

細胞加工業：売上高・セグメント損失



■売上高

✓ 特定細胞加工物製造業

免疫細胞：取引先医療機関の拡大等により、
細胞加工件数が増加

S-DSC®： 実施医療機関の増加に伴い、
細胞加工件数が増加

✓ CDMO事業

ティーセルヌーヴォーからの技術移転一時金の
計上により増加

✓ バリューチェーン事業

医療機器販売等が発生した一方、施設運営管理料
売上が減少

■セグメント損失

- 売上総利益の増加
- 研究開発費の低減
- 効率的なプロモーション活動の推進等による
  販売費の減少

⇒ 売上総利益増加に加え、販売費および一般管理費
が減少したことから、セグメント損失は改善

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

再生医療等製品事業：売上高・セグメント損失

■売上高

現時点で当社が製造販売承認を取得した再生医療等製品等はなく、 少額のライセンス収入のみ

■セグメント損失

同種間葉系間質細胞製品 MDNT-03（Stempeucel ® ）のオプション費用の発生等により、
研究開発費が増加し、564百万円（前年同期は407百万円）



©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

貸借対照表の概要

（単位：百万円）	2025年9月期 会計期間(A) （2025年9月30日）	2026年9月期 会計期間(B) （2026年9月30日）	増減額 (B)-(A)
流動資産	3,611	2,820	△790
現金及び預金	2,170	1,423	△746
その他	1,441	1,396	△44
固定資産	642	759	117
有形固定資産	356	528	171
無形固定資産	67	114	46
投資その他の資産	217	117	△100
資産合計	4,254	3,580	△673
流動負債	233	268	35
固定負債	243	403	160
負債合計	476	672	195
資本金	5,102	4,023	△1,078
資本剰余金	3	279	276
利益剰余金	△1,362	△1,397	△35
自己株式	△0	△0	-
評価・換算差額等	33	△6	△39
新株予約権	-	8	8
純資産合計	3,777	2,908	△869
負債純資産合計	4,254	3,580	△673

■流動資産：現金及び預金

✓ 1,423百万円を保有（有価証券を含め2,423百万円）

■固定資産/固定負債

✓ 資産除去債務 220百万円が増加

■資本金/資本剰余金/利益剰余金

✓ 第30回定時株主総会決議に基づき、
資本金等が減少、利益剰余金が増加

✓ 第20回新株予約権の行使に基づき、
資本金及び資本剰余金が増加

自己資本比率 81.0%（前年末は88.8%）

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

資金調達の概要（第20回新株予約権）

割当先	マッコーリー・バンク・リミテッド	新株予約権の潜在株式数	59,000,000株（本新株予約権1個につき100株）
新株予約権発行個数	新株予約権 590,000個	新株予約権の行使価額	当初行使価額 31.35円（下限24円）
発行価額	12,390,000円（新株予約権１個につき21円）	新株予約権の行使期間	2025年12月24日～2027年12月23日

調達する資金の具体的使途	支出予定時期
①包括的高度慢性下肢虚血を対象とした再生医療等製品の開発費用	**2025年12月～2026年12月**
②特定細胞加工物に関する新規技術の導入、エビデンス強化等に係る技術・臨床研究費用	**2027年1月～2028年12月**
③細胞加工業に係る販促費用	2025年12月～2027年12月
④本社運転資金	2025年12月～2026年12月

行使期間	交付株式数	発行総数（個） に対する行使比率	調達額（百万円）
2025年12月24日 ～2026年9月30日	**19,050,100株 (190,501個)**	**32.29%**	**540** ※含む新株予約権発行価額

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

SECTION

1 業績

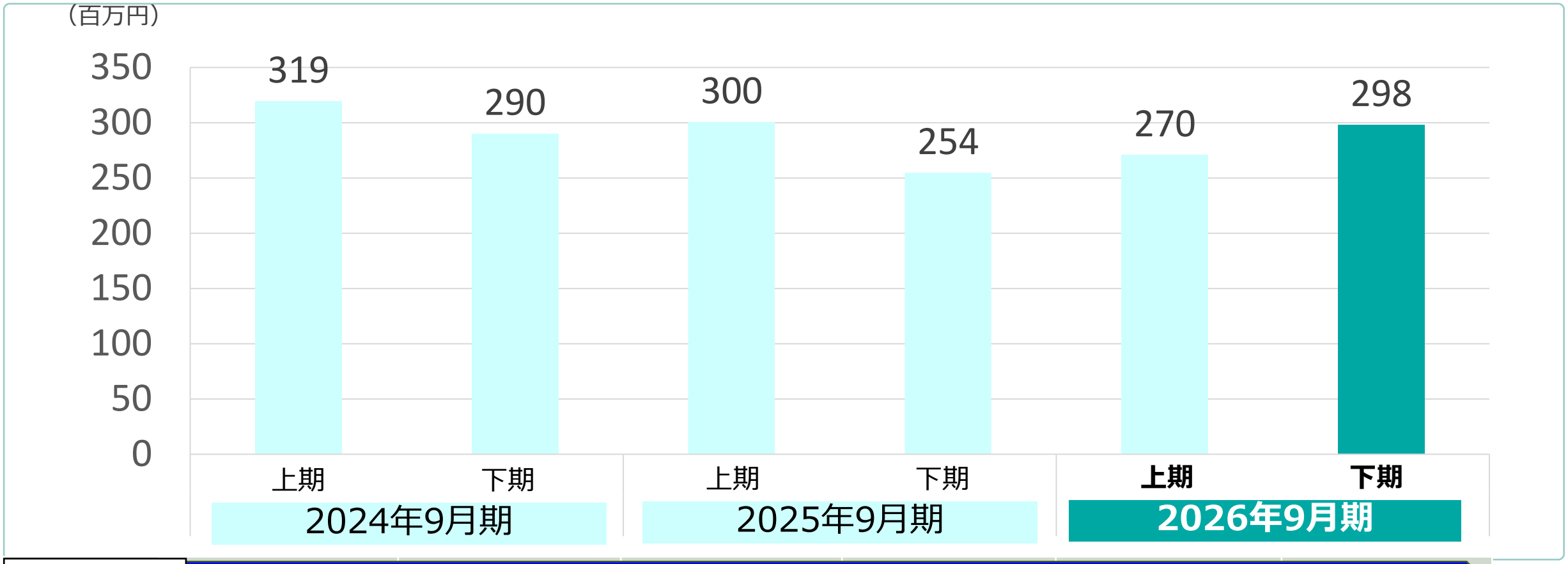
2 細胞加工業

3 再生医療等製品事業

4 事業構造改革と今後の取り組み

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

特定細胞加工物製造業：半期毎売上高推移

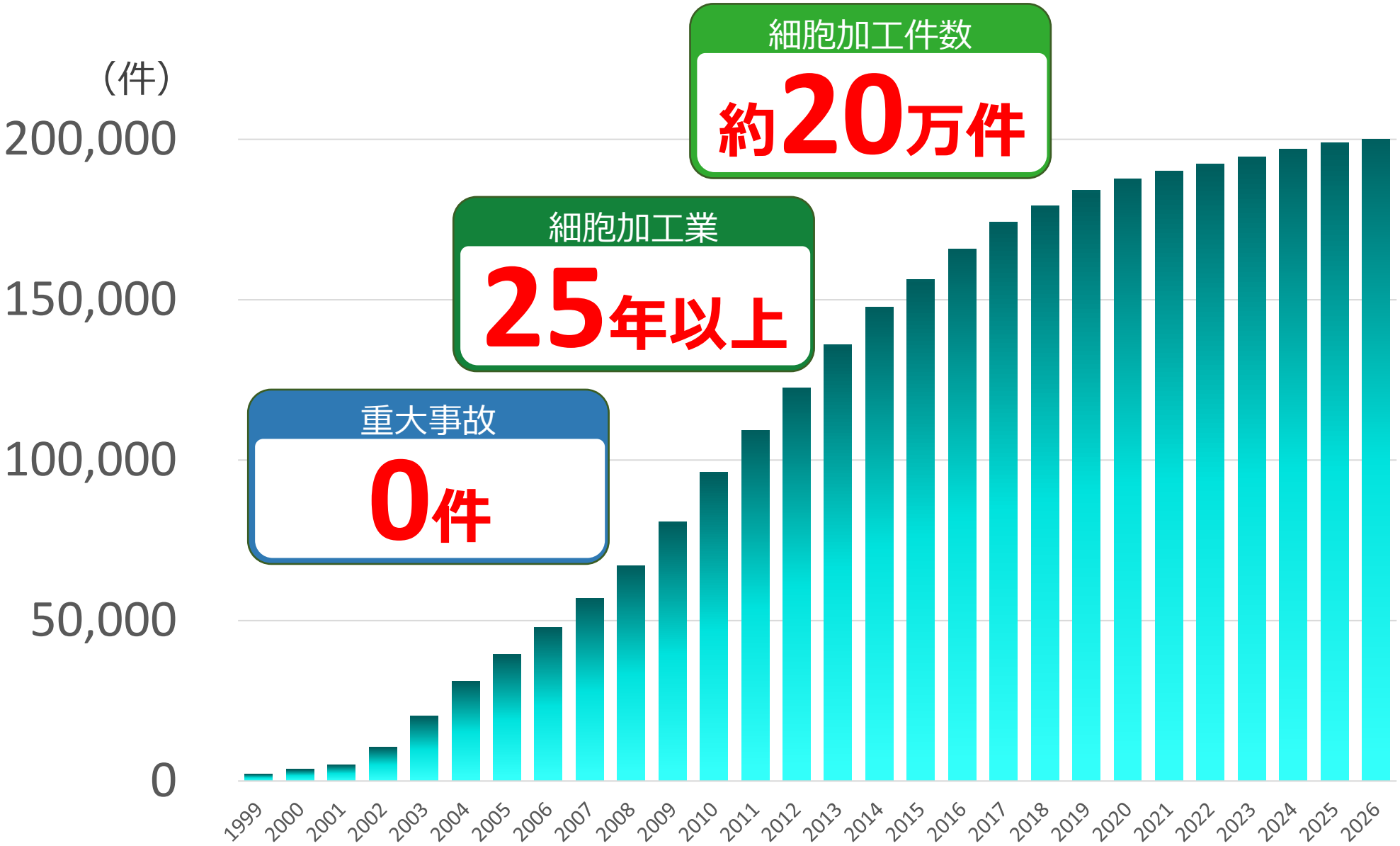


免疫細胞	製造受託		
S-DSC®	技術移転	製造受託	
ASC※		凍結製品の開発	製造受託開始に向けて医療機関と調整中

※脂肪由来間葉系間質細胞

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

特定細胞加工物（免疫細胞）の細胞加工件数（累計）



（2026年9月30日現在）

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

新ブランドの立ち上げ

Emerging Bio-medical Technology
MEDI NET

メディネットの強み

- 細胞加工技術
- 製造・品質を支える仕組み
- 医療を支える運用・供給体制

MEDMORE CELL

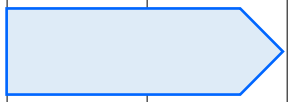
商標出願済み

医療機関・患者さまにメディネットで製造される
高品質で安全な特定細胞加工物のブランドイメージの浸透

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

特定細胞加工物製造業の進捗及び今後の取り組み

Emerging Bio-medical Technology MEDINET

細胞腫	ステージ			2026 年9月期	今後の取り組み
	技術確立	製造準備	製造受託		
免疫細胞 ■がん				・海外患者数が一時低調するものの、国内患者数は回復傾向となり、加工数は増加 ・新規契約医療機関は17件獲得	・新規契約医療機関の獲得 ・海外エージェントへの医療機関紹介 ・エビデンス強化に向けた臨床研究の推進（ICI不応例試験等）
S-DSC® （資生堂からの技術提供） ■毛髪				・大学病院を含む医療機関６施設で製造受託を実施中	・治療導入を希望する医療機関の拡大
ASC ■肝疾患など				・受託開始に向けて医療機関と調整中	・肝疾患以外への疾患の変更を含め、複数の医療機関と受託開始に向け協議中
3D-DCob （セルアクシア共同開発） ■歯科領域				・新規骨再生細胞治療の臨床研究が特定認定再生医療等委員会で審査され、適切であるとの評価を得た	・大学病院にて製造セットアップの対応中。 完了後に臨床研究の開始予定

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

当社加工技術のASC

機能評価	**長期の凍結保存が可能（生細胞率、免疫抑制維持）**
	ISCT国際基準に適合（ISCT※：国際細胞治療学会）
	免疫抑制機能を確認
安全性	**材料の安全性（無血清･Xeno-Free培地）**
	造腫瘍性がないことを確認（軟寒天培養試験）
	反復毒性試験で無毒性量を確認
応用が期待される疾患	肝疾患 ／ 膝関節症 ／ 糖尿病 ／ 脳神経疾患 ／ 慢性疼痛　など

※ISCTが提唱するヒト間葉系幹細胞（MSC）の最小基準（プラスチック接着性、細胞表面マーカー、3系統への分化能）に基づき評価

©2026 株式会社メディネット　All Rights Reserved.　本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

3D-DCobを用いた新規骨再生細胞治療（セルアクシア）

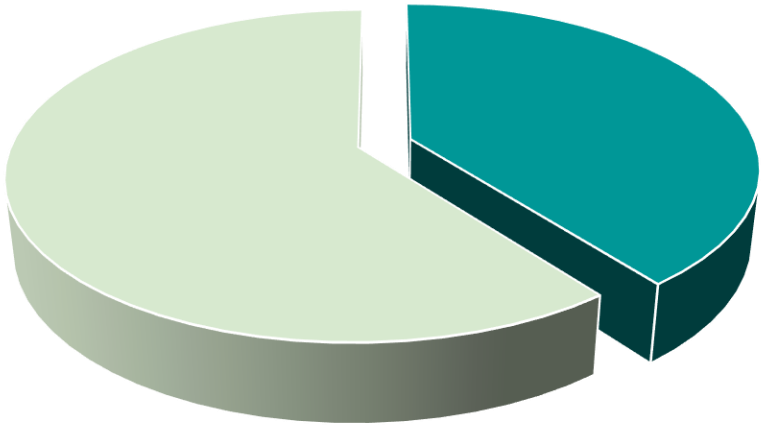
Emerging Bio-medical Technology MEDI NET

インプラント市場の中で目指す領域

骨量が不足し、インプラント手術に先立って骨造成が必要となる症例

国内インプラント手術

約43万件/年



骨造成を併用する手術

約17万件/年

併用率 約40%

3D-DCobの候補対象

骨造成を併用する患者の中で重症度が高い症例が対象

自己細胞由来の骨様組織を造成することで、感染症リスクを低減させた新たな治療選択の提供を目指す

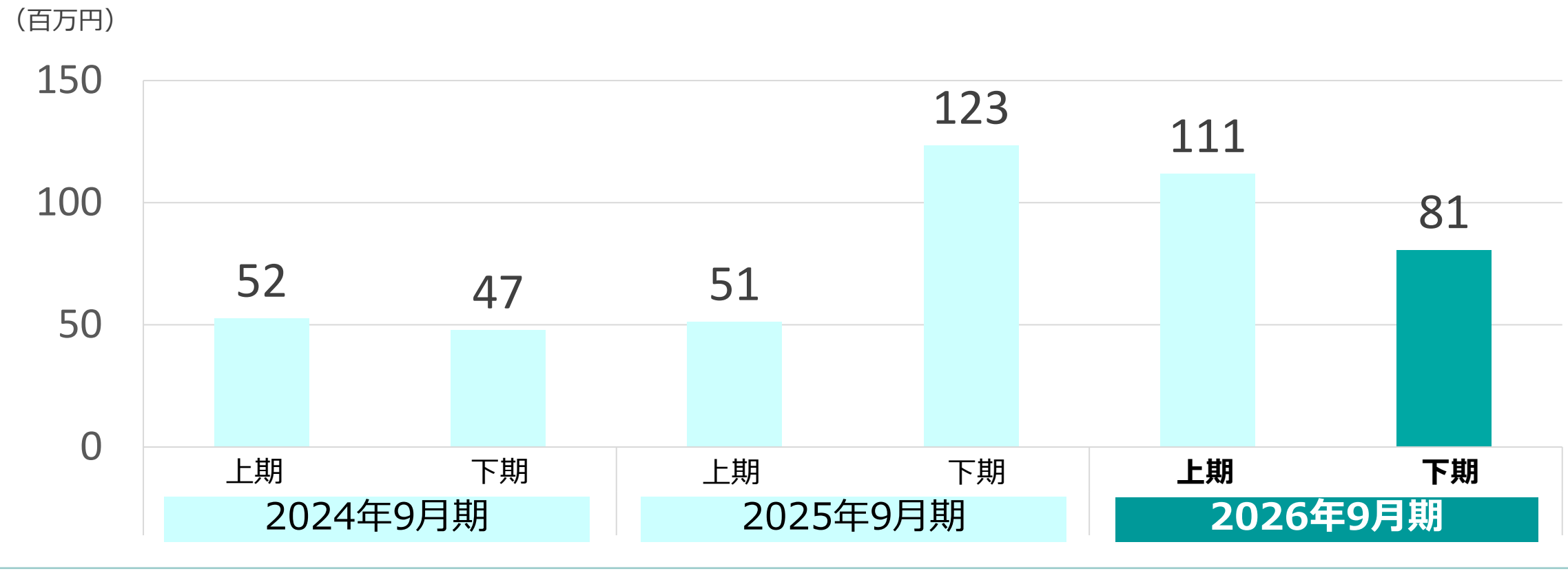
開発進捗：広島大学病院でFIH試験（主に安全性を評価し、骨造成率も確認する計画）を開始

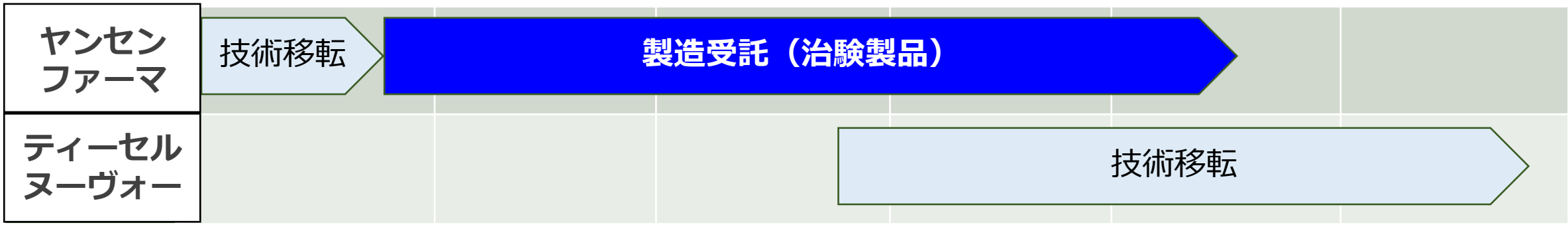
出典：厚生労働省 jRCT（jRCTb060260029）、令和5年医療施設調査、北川ほか（2025）日本口腔インプラント学会誌

注：年間約43万件は2023年9月の埋入手術36,118件の12倍。骨造成併用率39.7%は大学病院単施設の報告。年間約17万件は両数値に基づく推計で、3D-DCobの対象患者数を示すものではない。

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

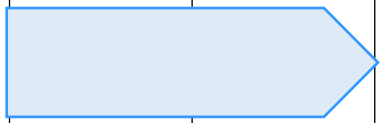
CDMO事業：半期毎売上高推移





©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

CDMO事業の進捗及び今後の取り組み

プロジェクト	ステージ			2026 年9月期	今後の取り組み
	契約締結	技術移転	製造受託		
ヤンセンファーマ				治験製品の製造受託の完了	市販製品の製造受託に向けた準備
ティーセルヌーヴォー				治験開始に向け技術移転完了	2027年9月期第2四半期での治験製品製造受託開始を見据え、製造準備を推進
	ティーセルヌーヴォーは臨床段階のバイオ医薬品企業であり、三重大学 珠玖研究室が開発した 次世代CAR-T細胞療法を用いて、免疫系を賦活化することにより固形がんを治療することを目指す、 アカデミア発バイオベンチャー企業				
AGC	細胞治療薬CDMO事業における戦略的パートナーシップ契約に基づく培養技術者の人的協業を実施中				

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

品川CPFのCDMO実績

製造施設としての規制対応実績

再生医療等製品製造業許可　　**計 3回**　　**適合**

製造業許可に係る調査　**2回**　　無通告相当の立入調査　**1回**

CDMO/自社開発製品における製造実績

顧客	顧客監査	GCTP適合性調査	進捗
ヤンセン	適合	適合	治験製造終了
TCN	適合	治験	治験製造準備中
自社開発製品	適合		治験中断

監査・適合実績を積み重ね、CDMOとしての製造体制を確立

©2026 株式会社メディネット　All Rights Reserved.　本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

アライアンス活動



韓国	2025年2月：「先端再生バイオ法」改正法施行 2026年7月：自家免疫細胞（T細胞、NK細胞等）のリスク区分を見直し
台湾	2026年1月：「再生医療法」及び「再生医療製剤条例」施行 2026年3月：再生医療製剤の開発支援制度を開始（T-RMAT）
中国	2026年5月：「生物医学新技術臨床研究および臨床転化応用管理条例」施行

■各国の法整備の進展を契機に再生医療分野へ参入する企業等を対象としたアライアンス活動とインバウンド取り込みを推進

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

SECTION

1 業績

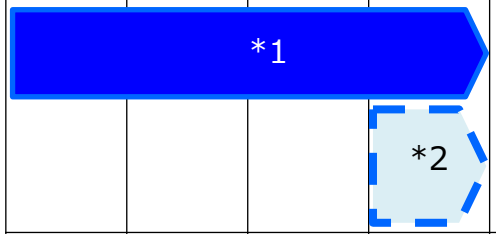
2 細胞加工業

3 再生医療等製品事業

4 事業構造改革と今後の取り組み

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

製品開発の進捗

開発品名／適応症等		開発ステージ				承認	2026年9月期下期	今後の取り組み・予定
		前臨床	PⅠ	PⅡ	PⅢ			
MDNT-01 (NeoCart®) 膝軟骨損傷	米国						・Ocugen：NeoCart®の開発を子会社OrhoCellixに移管中 ・米国第Ⅲ相試験準備中	・OrthoCellixが米国第Ⅲ相試験を計画中だが開始時期は未定
	日本						・国内第Ⅱ/Ⅲ相試験デザインについてPMDAと合意済 ・国内開発方針の再検討	**・構造改革決定に基づき、対応方針を決定していく**
MDNT-03 (Stempeucel®) 包括的高度慢性下肢虚血	インド						・インドで製造販売承認済の細胞治療製品、重症下肢虚血および変形性膝関節症の効能で市販中	・糖尿病性足潰瘍についても製造販売承認申請済で、現在審査中
	日本						・品質、非臨床および臨床試験についてのPMDA相談完了 ・オプション権行使 ・治験届提出を保留	**・自社開発は中止 第三者による国内開発継続の可能性を検討中**

*1: 米国第Ⅰ,第Ⅱ,第Ⅲ相試験（実施済み） *2:米国第Ⅲ相試験（予定）

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

研究開発の進捗（細胞加工業への応用可能性を重視）

研究開発シーズ（共同研究先）	開発ステージ		2026年9月期下期	今後の取り組み・予定
	基礎	臨床		
γδT細胞の抗腫瘍効果（神戸大学）	→		・膀胱がん同所移植モデルマウスを用いた非臨床試験において、当社製造の末梢血由来γδT細胞を膀胱内投与した結果、対照群と比較して腫瘍増殖を有意に抑制	・論文投稿 ・新たな免疫細胞治療としての可能性を追求
免疫細胞治療のエビデンス拡充（瀬田クリニック東京）	→	→	・先制医療における免疫細胞治療の有用性を明確化するための臨床研究を実施中 ・免疫チェックポイント阻害薬（ICI）不応例に対する免疫細胞治療の臨床研究実施中	・実施中の臨床研究の成果をまとめて、その有用性・可能性を追加発信
高感度抗体検出技術 MUSCAT-Assay（岡山大学）	→		・ICI療法の効果予測やがんリスク検査への応用可能性が示唆されているが、臨床的有用性の確立にはさらなる検証が必要のため、データの蓄積を継続中	・臨床研究でのデータ蓄積と対外発表による有用性の発信

構造改革に伴い、研究開発案件を見直し

- ◆ HSP-105特異的TCR-T細胞（国立がん研究センター）：マウス転移モデルでの静脈内投与による薬効は限定的であり、共同研究は終了予定
- ◆ HLH-CAR-T細胞（大阪公立大学）：既存CAR-T技術に対する優位性の実証が難しく終了予定

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

γδT細胞の抗腫瘍効果（神戸大学との共同研究）

Emerging Bio-medical Technology MEDI NET

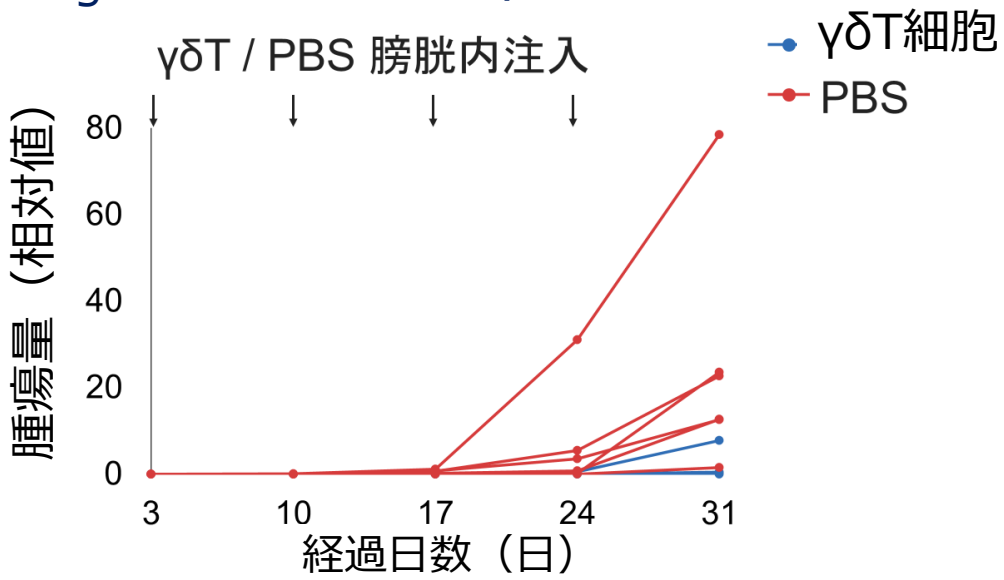
γδT細胞の膀胱内注入療法

膀胱癌CIS ※ 病変を有する患者のうち、BCG不応症例に対する新規治療法

※ CIS：Carcinoma in Situの略（膀胱の粘膜上皮内に留まる高悪性度の癌病変）

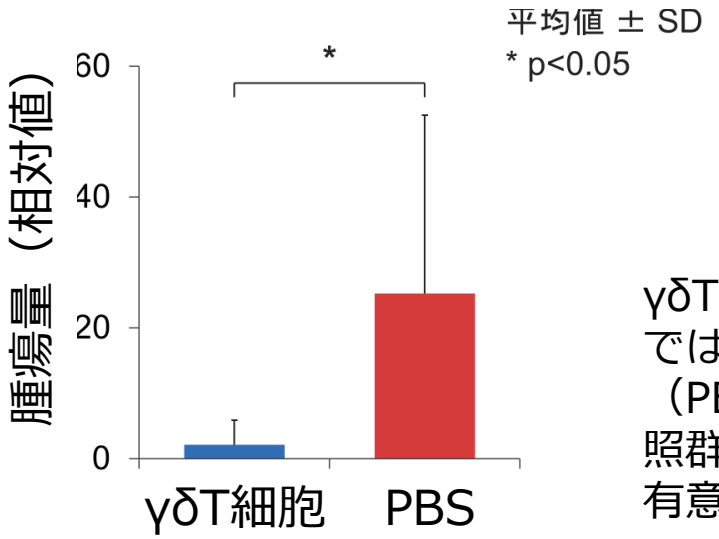
（膀胱がん同所移植マウスモデル）

Fig1. 腫瘍量（相対値）の推移



矢印：γδT細胞またはPBSを膀胱内に注入した時点

Fig2. 最終評価日の腫瘍量（相対値）の比較



γδT細胞を膀胱内に注入した群では、リン酸緩衝生理食塩水（PBS）を膀胱内に注入した対照群と比較して腫瘍の増殖が有意に抑制された。

図は神戸大学 青井貴之教授の研究グループ作成資料より転載

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

SECTION

1 業績

2 細胞加工業

3 再生医療等製品事業

4 事業構造改革と今後の取り組み

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

事業構造改革の背景と目的

改革の背景

■再生医療等製品の事業化には、長期間の研究開発投資と専門人材の確保が必要

■細胞加工物の品質・安全性や科学的有効性の検証が一層重要に

改革の目的

■**細胞加工業に経営資源を集中し、収益性改善と財務基盤強化を図る。**

固定費の削減効果

2027年9月期

固定費**300百万円**以上削減

2028年9月期以降

固定費**600百万円**程度減少

再生医療等製品事業の研究開発案件の見直し・集約

希望退職募集・各種費用の削減・適正化の推進

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

今後の取り組み

細胞加工業

微生物学的安全性に関する指針・検証型診療の取り組み

- 品質の科学的検証
- 臨床エビデンスの強化

売上増加・収益性向上

2028年9月期
セグメント黒字化

細胞加工業を通して
臨床研究・評価を実施

再生医療等製品事業

将来の候補シーズ
ライセンスアウト

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

業績予想

（単位：百万円）	2026年9月期 通期実績	**2027年9月期 業績予想**	増減額	対前年同期比
売上高	821	**992**	171	120.8
細胞加工業	821	**992**	171	120.8
再生医療等製品事業	0	**-**	0	-
売上総利益	151	**258**	107	170.9
売上総利益率 %	18.4	**26.0**	-	-
販売管理費	1,671	**1,413**	△ 258	△ 15.4
営業損失（△）	△ 1,520	△ **1,154**	366	-
細胞加工業	△ 420	△ **333**	87	-
再生医療等製品事業	△ 564	△ **380**	184	-
全社経費	△ 535	△ **440**	95	-
経常損失（△）	△ 1,360	△ **1,154**	206	-
当期純損失（△）	△ 1,397	△ **1,206**	191	-

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

この資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。

当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われますようお願いいたします。

　この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち歴史的事実でないものは、将来の事業に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営陣の現時点における判断に基づいており、顕在化・潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、これらの見通しに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

　細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りやデータのダウンロードなどによって生じた障害などに関し、事由の如何を問わず、一切責任を負うものではないことを予めご承知おき下さい。

©2026 株式会社メディネット　All Rights Reserved.　本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

Appendix

用語集

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

Appendix 用語集

	事業関連用語	説明
1	細胞加工業/ 特定細胞加工物製造業	細胞加工業の３つのビジネス領域の１つである特定細胞加工物製造業は、医療機関で採取された患者様の細胞から、医療機関の委託に基づき、再生・細胞医療で用いる治療用の細胞(特定細胞加工物)を製造し、製造件数に応じて製造委託料を受領する事業。
2	細胞加工業/ CDMO事業	細胞加工業の３つのビジネス領域の１つであるCDMO（Contract Development and Manufacturing Organization）事業は、再生医療等製品の治験製品および承認取得後の製品の製造受託をはじめ、実用化に係る各種業務を受託し、各種役務に応じた委託料を受領する事業。
3	細胞加工業/ バリューチェーン事業	細胞加工業の３つのビジネス領域の１つであるバリューチェーン事業は、細胞加工関連プロセスから派生する技術・ノウハウなどを提供し、対価を受領する事業。
4	バリューチェーン事業/ 施設運営管理	バリューチェーン事業において提供するサービスの一つであり、既設の細胞培養加工施設の運営管理業務などを受託するサービス。
5	バリューチェーン事業/ 再生医療関連サービス	バリューチェーン事業において提供するサービスの一つであり、再生・細胞医療に関連する各種業務を受託するサービス。
6	再生医療等製品事業	再生医療等製品事業は、再生医療等製品の研究開発、製品開発を行う事業。製薬企業へライセンスアウトを行った場合、開発ステージに応じた対価を受領する。また、ライセンスアウトしたパイプラインが製造販売承認を取得した場合、売上高に応じたロイヤルティを受領する。

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

Appendix 用語集

	細胞・技術・医療関連用語	説明
1	S-DSC®	S-DSC®は、後頭部の頭皮から毛球部毛根鞘（DSC）細胞を採取し、体外で細胞を増やして特定細胞加工物にしたもの。 「S-DSC®」を頭皮に投与することにより、毛髪成長が促される可能性を示す結果が得られている。
2	脂肪由来間葉系間質細胞（ASC）	脂肪由来間葉系間質細胞（ASC）は、移植片対宿主病（GVHD）、脊髄損傷、クローン病に伴う複雑痔瘻の治療製品として臨床使用されており、骨や軟骨に対する疾患、心臓疾患、肝疾患、糖尿病等に対する臨床研究も進められている。様々な疾患に対する間葉系間質細胞治療の期待の高まりを受け、当社においてもASCの細胞加工技術の開発に着手し、その細胞加工技術を確立している。
3	無血清・Xeno-Free培地	血清を加えず、さらに人以外の動物（異種）由来成分を含まない細胞培養用培地
4	新規骨再生細胞治療（歯科領域）	近年のゲノムリプログラミング研究の目覚ましい発展により、特定の条件を満たすことで分化能を有する多能性細胞を介することなく、体細胞（線維芽細胞等）から目的の体細胞（骨芽細胞等）に直接転換（ダイレクトコンバージョン）する現象が見いだされ、将来の革新的医療を担う新技術とされている。
5	3D-DCob	当社が実用化を目指してセルアクシア社と共同開発を進めている新規骨再生細胞治療に用いる特定細胞加工物。 線維芽細胞から骨芽細胞に直接転換させるDirect Conversion 法（ダイレクトコンバージョン法）と 3 次元的細胞集塊培養技術を組み合わせ、人工材料を含まずに機能的な骨芽細胞とその骨芽細胞自身が産生する骨基質タンパク質で構成される3次元骨様組織。
6	GCTP適合性調査	再生医療等製品の製造所がGCTP省令（再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令）に基づき、適正に製造・品質管理を行っているかを、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）が実地または書面により確認する調査
7	HSP-105	HSP-105（Heat Shock Protein-105）は、国立がん研究センター先端医療開発センター免疫療法開発分野長中面哲也先生らが、膵がんの患者様のがん細胞と血液を使ってがん抗原を同定する SEREX 法を実施して同定されたがん抗原。HSP-105は、精巣以外の正常組織ではほとんど発現はないか弱く発現しているが、大腸がん、肺がん、膵がん、乳がん、胆道がん、食道がん、咽頭がん、神経膠芽腫、メラノーマなど、胃がんや肝細胞がんを除いたほとんどのがんの細胞で過剰発現している腫瘍特異性が高い抗原。構成HSP-105由来ペプチドは、構成するアミノ酸配列の内、特にがん抗原特異的細胞障害性T細胞 （Cytotoxic T Lynphocyte: CTL) が強く反応する部分を指す。このペプチドをワクチンに用いることで CTL を効率的に刺激・増殖させることができる。

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。

Appendix 用語集

	細胞・技術・医療関連用語	説明
8	CAR-T	CAR-Tは、キメラ抗原受容体（Chimeric Antigen Receptor）導入T細胞。
9	TCR-T	TCR-Tは、T細胞受容体（T Cell Receptor：T細胞の表面に存在する腫瘍抗原由来ペプチドを認識するタンパク）を強制的に発現させるよう遺伝子を導入させたT細胞。
10	先制医療	先制医療は、病気の発生を未然に防ぐことを目的に、様々な背景因子などによる予測・診断を踏まえ、症状や障害が起こる以前の段階から実施する医療。
11	免疫チェックポイント阻害剤ICI	免疫チェックポイント阻害剤（ ICI：Immune checkpoint inhibitor）は、がん細胞を攻撃するT細胞の活性を抑制するシステム（例えばT細胞表面にあるPD-1タンパク質とがん細胞にあるPD-L1との結合）に対する阻害剤である。PD-1とPD-L1との結合を阻害することで、PD-L1により抑えられていたT細胞の働きを活性し抗腫瘍効果を発揮させる薬剤。
12	MUSCAT-Assay	MUSCAT-Assay（Multiple S-cationized antigen beads array assay）は、当社が岡山大学二見教授らとの共同研究で開発したタンパクの可溶化技術を応用した新規な自己抗体迅速測定抗原検査技術。日本、米国及び欧州等で特許取得済み。
13	包括的高度慢性下肢虚血 (Chronic Limb Threatening Ischemia)	包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）とは、足の血液の流れが著しく悪化し、足に潰瘍や壊死などの深刻な状態を引き起こすことを指す。従来、末梢動脈の閉塞により引き起こされる疾患として、重症下肢虚血（CLI）という概念が用いられていたが、近年ぞはCLTIという用語を使用することが推奨されている。CLTIは虚血のみならず組織欠損や感染といった要素も含めた “肢の運命” 全体に着目した包括的な概念。
14	ヘリックス・ループ・ヘリックス（HLH）	30～50個の天然アミノ酸から構成される２つのα-ヘリックスとループからなる構造のペプチドで、抗体と同様に、抗原に対する高い特異性と強い結合能のを有する中分子化合物である
15	BCG膀胱内注入療法	弱毒化したウシ型結核菌（BCG）を膀胱内に注入し、局所の免疫反応を誘導することで抗腫瘍効果を発揮する、上皮内癌（CIS）を含む高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対する標準治療法。
16	BCG不応性膀胱癌	十分なBCG療法を実施しても高悪性度病変が残存する、又は一定期間内に再発する筋層非浸潤性膀胱癌。根治的膀胱全摘除術が標準治療であり、近年、新たな膀胱温存治療薬も承認されているが、長期的な有効性や安全性の観点から、依然としてアンメットメディカルニーズが存在する。

©2026 株式会社メディネット All Rights Reserved. 本データの著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止します。